

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11284

国指定文化財修理修復補助事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	1	文化財の保護

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	国指定文化財修理修復補助事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二 435-1194
事業実施の根拠法令	文化財保護法		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	国指定文化財(名勝)である養翠園を適正に保存整備する。		国指定文化財養翠園の保存修理への事業補助			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	あやめ池復旧工事	養翠亭周辺(池側)の流失土の復元及びこげ張り	養翠園内中島の整備に対する事業補助 平成30年度西日本豪雨及び台風20・21号による被災個所の災害普及(随伴無し)	養翠園内苑池の整備に対する事業補助	養翠園内苑池の整備に対する事業補助	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	125	125	93	93	93	93	93	0	93	0	
伸び率(%)	34.4%	34.4%	△25.6%	△25.6%	0%	0%	0%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	875	1,034	1,197	1,356	1,599	1,679	1,839	0	1,839	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	875	1,034	1,197	1,356	1,599	1,679	1,839	0	1,839	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	125	125	93	93	93	93	93	0	93	0	
所要人数(人)	正規職員	0.11	0.13	0.15	0.17	0.20	0.21	0.23	0.00	0.23	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	文化財補助金 93千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
修理件数		件	目標値					
			実績値	1	1	2		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
修復文化財数		件	目標値					
			実績値	1	1	2		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
			○	達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	貴重な文化財は、修理修復を重ね、後世に残さなければならない。
見直し・改善内容	庭園は修理・修復を重ねていかなければ傷んでいくものであることから、今後も計画的に修理・修復を行っていく予定である。